

# いちようだより



今年度最初の「いちようだより」です。今年も保土ヶ谷養護学校の子どもの日々の活動の様子をこの「いちようだより」でお知らせしていきます。最初は、本校の管理職のご挨拶からになります。

## 藤 聡志(とうさとし) 校長

保土ヶ谷養護学校 校長の 藤(とう)と申します。日頃よりこの保土ヶ谷、権太坂・境本地区の皆様には、登下校時や地域での活動の際などへのご支援やあたたかいお声掛け等をいただき心より感謝申し上げます。

さて、今年度の保土ヶ谷養護学校は、この権太坂にある本校、及び県立舞岡高等学校と横浜平沼高等学校の施設内にそれぞれ存する分教室(高等部)を合わせて、児童・生徒数は三百九名、教職員数は二百名弱という規模で4月にスタートしました。神奈川県立特別支援学校の中では有数の大規模校です。小学部一年生から高等部三年生までの年齢的には幅広い、知的障害の子どもたちが通学しています。

コロナ禍となって3年目を迎えている現在も、従来のような地域での授業・活動や交流に、感染症対策のため慎重にならざるを得ない状況であり、地域

の皆様にも学校にお越しいただいたり知っていただいたりする行事・イベントなどの実施があまりできていないことについて大変心苦しく思っております。その中でも、教育委員会の「学びを止めない」という方針のもと、感染対策を考え、工夫しながら、地域の小・中・高等学校との交流・共同学習や卒業後に向けた職業教育(作業学習・実習など)、公園・公民館など公共機関を利用した学習において、各校・地域の方々・施設や企業の方々からご協力いただき、活動を進めています。これからも国や県がめざす「共生社会の実現」に向けて、この保土ヶ谷養護学校ができることを実行してまいります。ぜひ皆様にもお力添えをいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



神奈川県立保土ヶ谷養護学校  
学校 便り 第三十二号  
住所 横浜市保土ヶ谷区権太坂一―八一―  
電話 〇四五(七一四)〇二二六  
令和四年七月二十日 発行

## 川島 結子(かわしま ゆうこ) 副校長

この四月に金沢養護学校からまいりました川島結子(かわしま ゆうこ)と申します。どうぞよろしく申し上げます。

実は、四年前まで保土ヶ谷養護学校に勤務してまいりまして、四月に保護者の方から「おかえりなさい!」とあたたかく声をかけていただき、大変うれしく思っていました。本当にありがとうございます。

保土ヶ谷養護を一言で紹介(表現)すると「自然豊か」「のびのび」だと思っています。この自然豊かな環境の中で、日々児童生徒のみなさんが、一人ひとりのペースで、のびのびと成長していくお手伝いをしていきたいと思っています。また、学校周辺には小学校・中学校・高等学校と、交流して共に学ぶ環境にも恵まれています。しばらく止まっていた時間が少しずつでも動き出せるよう取り組んでいきたいと思っています。そして、地域の方々との交流・学校からの発信も大切に「何ができるか」を考え、実行に移していきたいと思っています。

感染防止対策は続きますが、児童生徒みなさんの笑顔あふれる学校に「チーム保土ヶ谷」で取り組んでまいります。一年間どうぞよろしく申し上げます。

## 望月 好子(もちづき よしこ) 教頭

着任2年目になりました。教頭の望月 好子(もちづき よしこ)と申します。どうぞよろしくお願ひします。

昨年度は、保土ヶ谷権太坂の自然の豊かさ四季を体感し、保土ヶ谷養護学校の子とも達との出会いもあり、心豊かな一年でした。今年度も春先の小鳥のさえずり、時折訪れるりすや鳥たち、最近は薄緑色のカエルにも遭遇しました。心がほぐれるひとときを楽しんでいます。

また、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、中止や延期になった行事もありました。その中でも、運動会やスポーツフェスティバル、地域交流行事、校外行事、卒業式等を実施できました。子ども達の意欲的に取り組む姿や学習の成果を見ることができ、感激しました。日頃からコロナ禍で保護者の皆様のご理解ご協力をいただくことが多々あり、感謝しております。ありがとうございます。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策に十分留意しながら、教育活動の充実に教職員一同力を合わせ、努めてまいりたいと思います。

また、昨年度の教育活動アンケートで、高評価の割合が低かった『授業でのICT機器の活用』『共生社会実現に向けた取組(地域交流)』の積極的な発信も行いたいと思います。

一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

## 小倉 裕之(おぐら ひろゆき) 教頭

みなさん、こんにちは。四月に武山養護学校から異動してきました小倉裕之(おぐらひろゆき)です。

新任の教頭としてこの保土ヶ谷養護学校に着任しました。初めての学校で初めての役割を担う日々が始まり緊張が続いていました。そのような中、児童・生徒から「おはようございます」「こんにちは」と声をかけられることにより、私の心が徐々に和んでいくことを実感しました。「学校っていいなあ」としみじみ思いました。

また、校舎やグラウンド、農園など敷地内を回る中、児童・生徒の活発な姿と、児童・生徒の活動を支える先生方の真摯な取り組みを見てとても力が湧いてきました。

これまでは、横須賀・三浦地区の学校に長く務めたので、横浜地区の学校は二校目になります。地域を知ることからはじめて、地域の方々と顔がわかる関係づくりを進め、保土ヶ谷養護学校を支えてくれる支援の輪をさらに広げていきたいと考えています。私は、進路支援を長く務めていました。この経験をフル活用して地域の皆様とのコミュニケーションやふれあいを重視していこうと思います。

四月は感染拡大防止について細心の注意を払うスタートでした。今も感染防止は継続しますが、今後は新しい生活スタイルを上手に活用し、学習保障と感染拡大防止のバランスをとりながら豊かな学校生活を送れるように支援していきます。どうぞよろしくお願ひします。

## 『ふれあい作品展』に

### 今年も参加します！

今年も子どもたちの作品を高島屋に展示します。ぜひお越しください。

日時 8月24日(水)~29日(月)  
10時~19時(最終日は17時まで)

場所 横浜高島屋 8階ギャラリー

※今後の状況により、内容に変更がある場合は、ホームページでお知らせします。

## ホームページもご覧ください！

学校ホームページでは、「いちょうだより」でお伝えしきれない情報も多数掲載しております。ぜひ、遊びに来てください。

URL:

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/hodogaya-sh/>